

施策評価（令和5年度）

| | | | |
|--------------------------|--------|-------|-----------|
| 戦略1 産業・雇用戦略 | | | |
| 目指す姿3 歴史と風土に培われた地域産業の活性化 | | | |
| 幹事部局名 | 産業労働部 | 担当課名 | 商業貿易課 |
| 評価者 | 産業労働部長 | 評価確定日 | 令和5年7月31日 |

1 施策（目指す姿）のねらい（施策の目的）

事業者間や異業種間の連携が進み、歴史や風土が育んだ本県ならではの原材料や技術・サービスと、時代に即した価値観が融合することで、新たな付加価値が創出され、持続的に発展する地域産業の実現を目指します。

2 施策の状況

2-1 成果指標の状況及び定量的評価

| | 施策の方向性、指標名(単位) | 年度 | 2019 (R元) | 2020 (R2) | 2022 (R4) | 2023 (R5) | 2024 (R6) | 2025 (R7) | 直近の 達成率 | 判定 | 備考 |
|---|--|-------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|----|----|
| ① | 【施策の方向性①】 食品製造事業者の取引先マッチング成約件数(件) | 目標 | | | 10 | 10 | 10 | 10 | 100.0% | a | |
| | 実績 | - | 7 | 10 | | | | | | | |
| | 出典:県調べ | 達成率 | | | 100.0% | | | | | | |
| ② | 【施策の方向性②】 伝統的工芸品の生産額(百万円) | 目標 | | | 1,550 | 1,600 | 1,700 | 1,860 | 89.4% | c | |
| | 実績 | 1,854 | 1,541 | 1,385 | | | | | | | |
| | 出典:県調べ | 達成率 | | | 89.4% | | | | | | |
| ③ | 【施策の方向性③】 商業事業者の販売額(億円) | 目標 | | | 2,941 | 2,960 | 2,980 | 3,000 | 120.6% | a | |
| | 実績 | 2,928 | 3,453 | 3,548 | | | | | | | |
| | 出典:経済産業省「商業動態統計」 | 達成率 | | | 120.6% | | | | | | |
| ④ | 【施策の方向性④】 県内建設業に就職した新規高校 卒業者数(人) | 目標 | | | 150 | 150 | 150 | 150 | 102.7% | a | |
| | 実績 | 131 | 152 | 154 | | | | | | | |
| | 出典:秋田労働局「新規高校卒業者職業紹介状況」 | 達成率 | | | 102.7% | | | | | | |
| ⑤ | 【施策の方向性④】 ICT活用工事の実施件数(件) | 目標 | | | 40 | 50 | 60 | 70 | 107.5% | a | |
| | 実績 | 18 | 28 | 43 | | | | | | | |
| | 出典:県調べ | 達成率 | | | 107.5% | | | | | | |
| ⑥ | 【施策の方向性⑤】 リサイクル関連事業の製造品出 荷額(億円) | 目標 | | | 352 | 365 | 378 | 391 | 96.6% | b | |
| | 実績 | 313 | 243 | 340 | | | | | | | |
| | 出典:県調べ | 達成率 | | | 96.6% | | | | | | |

※ 指標の判定基準

a: 達成率 \geq 100% b: 100% $>$ 達成率 \geq 90% c: 90% $>$ 達成率 \geq 80% d: 80% $>$ 達成率 \geq 70% e: 70% $>$ 達成率
n: 実績値が未判明

| 定量的評価結果 | 計算式 |
|---------------|----------------------------------|
| 3.50 (B相当) | ① a 判定 × 4 個 = 16 点 |
| | ② b 判定 × 1 個 = 3 点 |
| | ③ c 判定 × 1 個 = 2 点 |
| | ④ d 判定 × 0 個 = 0 点 |
| | ⑤ e 判定 × 0 個 = 0 点 |
| | ①~⑤の合計 21 点 ÷ 6 個(判明済み指標) = 3.50 |

※ 指標の判定基準 a:4点 b:3点 c:2点 d:1点 e:0点

※ 成果指標において実績値が未判明となった指標がある場合には、それを除いて平均点を算出する。

※ 定量的評価の判定基準

A相当:平均点が3.6点以上 B相当:平均点が3.2点以上3.6点未満 C相当:平均点が2.8点以上3.2点未満
D相当:平均点が2.4点以上2.8点未満 E相当:平均点が2.4点未満

2-2 経過検証指標の状況と分析

| | 指標名(単位) | 年度 | 2019 (R元) | 2020 (R2) | 2022 (R4) | 2023 (R5) | 2024 (R6) | 2025 (R7) | 備考 |
|----|---|----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|
| ① | 【施策の方向性①】 食料品・飲料等の製造品出荷額等 (従業者4人以上の事業所)(億円) | 実績 | 1,335 | 1,162 | - | | | | 令和6年10月判明予定 |
| | 出典:経済産業省「工業統計調査」 | | | | | | | | |
| ② | 【施策の方向性③】 商業・サービス業の県内総生産 (億円) | 実績 | 947,447 | 864,666 | - | | | | 令和7年12月判明予定 |
| | 出典:県「秋田県県民経済計算」 | | | | | | | | |
| 分析 | <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に対して令和2年度の「食料品・飲料等の製造品出荷額」は約13%減少しており、コロナ禍による飲食店・土産品店における需要減が影響していると考えられる。また、観光客やイベント数が減少したことも影響していると推測される。 同じく「商業・サービス業の県内総生産」は令和2年度に約9%の落ち込みとなっており、特に宿泊・飲食サービス業において大幅に落ち込んでいる(△45%)ことから、コロナ禍の影響が大きかったものと推定している。 | | | | | | | | |

2-3 主な取組状況とその成果

| |
|---|
| <p>【施策の方向性① 食品製造業の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本県食品産業の持続的な発展に向けて、その施策の指針となる「秋田県食品産業振興ビジョン」を策定した。 人材育成講座及び異業種交流会を開催した(講座等:2コース各4回、1コース1回、修了者:計66名)ほか、改善活動に取り組む食品製造事業者を支援し、啓発セミナーを開催した(改善活動支援:1社、啓発セミナー:1回)。 食品加工機器新規導入の取組(1件)やデジタル環境の整備(8件)、食品事業者中心の連携への取組(1件)に対し助成したほか、コーディネーターを配置し、事業拡大の取組を支援した(マッチング成約:10件)。 <p>【施策の方向性② 伝統的工艺品等産業の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者や産地等が行う、販路開拓や新商品開発、後継者育成、原材料確保等の取組を助成(事業者10件、産地等7件)し、課題解決に向けた取組を総合的に支援した。 一定以上の技能等を有する職人1名を「秋田県みらいの工芸士」として認定し、後継者の育成等に寄与した。 第39回伝統的工艺品月間国民会議全国大会を本県で初開催した(開催日:R4.11.17~20、来場者:約8万4千人)ほか、都内百貨店で開催された展示即売会「全国伝統的工艺品祭 銀座名匠市」への産地等の出展を支援し、全国への魅力発信と首都圏等への販路拡大を促進した(国指定4産地、県指定2産地)。 <p>【施策の方向性③ 商業・サービス業の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内中小企業等の経営革新の取組に助成する「商業・サービス産業経営革新事業」に、通常枠のほか、デジタル化や物価高騰に対応するための特別枠を設けたほか、賃金水準の向上や女性活躍の推進に取り組む企業の計画10件を優先採択し、事業者の持続的な発展を支援した。 <p>【施策の方向性④ 建設産業の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT活用工事に必要な機器の整備を支援する「建設DX加速化事業」を広くPRし、62件(予定件数60件)の取組に助成することによって現場の生産性と安全性の向上を支援した。 企業と高校生のマッチングを図る「建設企業出前説明会」を11回開催したほか、業界11団体による人材確保に向けた取組に助成し、就業の促進と人材確保を支援した。 県内の代表的なインフラ資産を取りまとめた「未来へ伝えたい秋田のインフラ50選」リーフレット等の作成配布(県内小中学校287校等に配付)や、「あきた建設女性ネットワーク」による「けんせつ女子フェスタ2022」の開催(約600名来場)を通じて、建設産業のイメージアップを図った。 <p>【施策の方向性⑤ 環境・リサイクル産業の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規事業掘り起こしのため1回目の「レアメタル等リサイクル戦略推進会議」を開催した。また、廃プラスチック類の回収効率化や高付加価値化等を図るため、県内を2地区に分けて地区毎に延べ1ヶ月程度回収試験を行ったほか、試験結果の検証や参加事業者・回収品目の増加を図るため、中間検討会やセミナー(各1回)を開催した。 県内で発生する産業廃棄物の再生利用等に係る設備投資や試験研究等に対して助成(9件)した。 |
|---|

3 総合評価と評価理由

| 総合評価 | 評価理由 |
|------|---|
| B | 成果指標の達成率を基にした定量的評価は3.50で「B相当」であることから、総合評価は「B」とする。 |
| | 【定性的評価として考慮した点】 |

4 県民意識調査の結果

| 質問文 | 地域経済・社会を支える地域産業の活性化が図られている。 | | | | | |
|-----|-----------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------|
| 満足度 | 調査年度 | 2023 (R5) | 2024 (R6) | 2025 (R7) | 2026 (R8) | 前年度比 |
| 満足度 | 肯定的意見 | 7.6% | | | | |
| | 十分 (5点) | 0.6% | | | | |
| | おおむね十分 (4点) | 7.0% | | | | |
| | ふつう (3点) | 39.4% | | | | |
| | 否定的意見 | 36.6% | | | | |
| | やや不十分 (2点) | 20.8% | | | | |
| | 不十分 (1点) | 15.8% | | | | |
| | わからない・無回答 | 16.5% | | | | |
| 平均点 | 2.47 | | | | | |

※端数処理の関係で満足度の割合の合計は100%にならないものもある。

5 主な課題と今後の対応方針

| 施策の方向性 | 課題 | 今後の対応方針 |
|--------|--|--|
| ① | ○ 県内食品製造業は、従業者数30人以上の比較的規模の大きな事業所が少なく、1事業所当たりの製造品出荷額等も少ない状況にある。 | ○ 県内食品事業者のリーディングカンパニーを育成するため、生産性向上や企業価値向上への支援を行う。併せて、事業活動の中核を担う人材の育成や事業者間連携を促進するための支援を行う。 |
| ② | ○ 伝統的工芸品産業の従事者及び生産額が減少傾向にあり、将来的に産地としての存続が困難となるおそれがある。 | ○ 産地等が行う異業種と連携した国内外での販路開拓や新商品開発、人材育成等の取組を支援するとともに、一定以上の技能等を有する者を「秋田県認定工芸士」等として認定する制度を継続して実施する。また、新たな販路開拓や商品の魅力向上につなげるため、若い感性を持つ学生等の斬新なアイデアを取り入れた新商品開発を支援する。 |
| ③ | ○ 地域経済の現況と先行きを踏まえつつ、より事業の持続的な発展と地域産業の活性化につながる経営革新の取組が求められる。 | ○ 企業の経営革新に関する事業ニーズの把握から計画立案、執行、フォローアップに至る一連の伴走支援について、地元の商工団体や金融機関により積極的に関わってもらう。 |
| ④ | ○ 工事現場の省力化による生産性向上のほか、安全性や施工精度の向上に向けて、ICTの活用を更に促進する必要がある。 ○ 少子化等を背景とした人材獲得競争の中、求人者の充足率が低い新規高卒者等を中心に、建設産業への就職者を確保し、県内定着につなげる必要がある。 | ○ 「建設DX加速化事業」の周知を進めるとともに、国の動向や県の実績を踏まえつつ「ICT活用モデル工事」の対象拡大を検討する。 ○ 新卒者の県内建設業への就職を促進するため、工業高校はもとより、普通高校や高専等においても出前説明会等を開催してマッチングを強化するほか、イベントや各種媒体を通じて建設産業の魅力向上を促進し、県内建設業への入職増加に努めていく。 |
| ⑤ | ○ カーボンニュートラル社会の実現等、時代のニーズに応じた事業の育成・支援が求められている。 ○ リサイクルを産業として継続していくためには、廃棄物を安定的かつ効率よく回収することが重要である。 | ○ レアメタルや太陽光パネル等のリサイクル拠点形成のための支援を継続する。 ○ 使用済みプラスチックのリサイクルに係るデジタル・プラットフォームの構築等、ネットワークの形成を支援する。また、新たなリサイクル対象の掘り起こしや高付加価値化を支援する。 |

6 政策評価委員会の意見

| |
|-------------------|
| 自己評価「B」をもって妥当とする。 |
|-------------------|